

授 業 科 目 名	小児聴覚障害学Ⅱ	授 業 形 態	講 義
		配 当 学 期	1年（後期）
担 当 教 員 名	向 田 隆 佑	単 位 数	1単位
		時 間 数	30時間
授業概要 学習目標	<p>〔授業概要〕</p> <p>「小児聴覚障害Ⅰ」で学習した基礎知識をもとに、「小児聴覚障害Ⅱ」では、小児・成人の臨床において共通した技能である純音聴力検査に加え小児に用いる聴力検査について学習します。単なる検査方法の勉強だけでなく、検査や診断についての考え方や検査レポートの書き方についても学習します。</p> <p>〔学習目標〕</p> <p>聴力検査の実施方法と考え方、診断についての考え方について理解する。</p>		
授業回数	授業内容		
第 1 回	検査者の心構えについて		
第 2 回	聴力検査(1)		
第 3 回	聴力検査(2)		
第 4 回	聴力検査(3)		
第 5 回	聴力検査(4)		
第 6 回	聴力検査(5)		
第 7 回	聴力検査(6)		
第 8 回	聴力検査(7)		
第 9 回	聴力検査(8)		
第 10 回	聴力検査(9)		
第 11 回	聴力検査(10)		
第 12 回	聴力検査(11)		
第 13 回	聴力検査(12)		
第 14 回	聴力検査(13)		
第 15 回	聴力検査(14)		
評価方法	実技試験（100%）		
教科書 参考図書	〔教科書〕 聴覚検査の実際(改訂4版) 南山堂		
履修上の 留意点	相互被検者で実施します。検査者と被検査者は、固定化しないように留意ください。耳栓を忘れないように。		
メッセージ	子どもの聴力検査を行う場合、とにかく「待ったなし!」です。オージオメータの前に座ると、手と身体が勝手に動くレベルにまで上達しておく必要があります。		